

平成9年 第40回～第50回



白鳥の湖,くるみ割り人形など,よく知られているバレエ音楽をきくだけでなく,有名なプリマの踊りを解説付きで鑑賞できた貴重なコンサートとなった。



第43回「バレエ音楽特集」
[講師]音楽プロデューサー 相沢昭八郎氏
ゲスト 小川麻乃さん(松山バレエ団)

日本でのピアノソラブームの発端をひらいた人といっても過言ではない。若いながら,その音楽性は最高の評価を受けている。
ハンドネオン奏者 小松亮太氏



第45回ライブコンサート
No. 8
「ハンドネオンの響き...スタンダードタンゴ&ピアソラの世界」
出演小松亮太四重奏団



第49回
「名録音とすぐれた再生,レコード演奏者とは...」
[講師]
オーディオ評論家
菅野冲彦氏
ゲスト 北村英治氏
(クラリネット)
菅野氏とのコンビで,数々の名演奏がリリースされて来た北村氏と熱いトーク<ジャズとの出会い,趣味と人生,オーディオは人なり>という言葉は,多くの共感を呼んだ。





第50回 ライブコンサート No.9
「クラシック&ジャズ/ダブルコンサート」
出演 上直子さん(ギターソロ)
Vibes Trio with Strings
増田一郎氏(ヴァイブラホン)
潮先郁男氏(ギター)
小野照彦氏(ベース)



東京大学インド哲学科卒の異彩女性ギタリストのナンバーワン上谷直子さんの熱演

● 企業市民の時代 ●

此の新聞連載「用事」の発売を手がける株式会社千代田テクノが、平成五年七月から毎月一回、本社ロビーで行っている「千代田テクノロジーコンサート」が今月で五十回目を迎える。通常は音源(CD)に勝るといふアナログレコードの鑑賞会で、クラシックから軽音楽まで多彩な演目が行われる。会場は東京市内を本社が行った手づくりのコンサートホールで、毎月百名前後の観客を集め、収益を社会福祉団体に全額寄付される。「千代田」も地域への貢献が低い業種で、そこから、せめてこうした形で後進を導ければと思ひ、活動を続けてきました。そう語るのは、昨年六月に就任した細田敏雄社長。黒田天明前社長から、通常業務と一緒にこの地域貢献活動も引き継いでほしいと頼まれた。

きっかけは、黒田社長が地元の懇親会で音響機器メーカー、オルトフォンジャパン株式会社の前田隆彦社長と知遇を得たことによる。表式校舎した二人がアナログの良さを語りあうも、いつしかレコードコンサート開催を思ひ立ったのだという。前田社長は「黒田から企画・構成・司会進行役を買って出て、今日に至るまで続けている」。

「毎回楽しみにして下さる方が増え、また「千代田」と名前を冠す細田社長、料理を一口も交わらない賑わい。コンサートは、今や細田社長自身にとっても何よりの楽しみとなっている。

50回目を迎える地域密着型チャリティーコンサート

株式会社千代田テクノ

- レコードコンサートの趣旨。入場料は各々の観覧が任意に額を決める方式。ただしライブ演奏の月だけは1,000円～2,000円を一律集めて行く。開催日は毎月第3水曜日。観覧は午後6時。2時開演が目安だが、「区がはすむと定例時に開くならないこともしばしば」(前田社長・常務取締役)と云ふ。
- レコードコンサートに用いられるオーディオは、オルトフォンの社製の最高級のステレオセット。千代田テクノ所有のものだが、メインタランスやオペレーションはオルトフォンプランの専任技師に一任している。興味のある方はお問い合わせ。開催費はふるまひを申し込むことができる。
- 収益金は基本的に文京区社会福祉協議会に全額寄付される。ただし、「阪神・淡路大震災などのような震災災害が起こった場合は、一部を義援金として返しています」(前田社長・常務取締役)。

●株式会社千代田テクノ
本社所在地 東京都中央区銀座1-7-12
電話番号 03(3561)-5241(内)
代表者 代表取締役社長 細田敏雄
設立 昭和29年5月
資本金 5億4,150万円
従業員数 413名
売上高 55億円

10月15日に催された「第50回千代田チャリティーコンサート」の様相。演者は「美空ひばり・田代百合子」はやりらに語る昭和史。この日は実行委員長の高橋健作氏がゲストに招かれた。下の写真の人物は前田社長。右が前田社長。